

平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 き も と
(略称 KIMOTO)

(URL <http://www.kimoto.co.jp/>)

代表者名 代表取締役社長 木本 和伸
(コード番号 7908 東証第一部)

問合せ先 常務取締役 管理本部長 安田 茂
(TEL 03-6758-0300)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 26 年 5 月 13 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

1. 訂正箇所

添付資料 4 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

【訂正前】

次期の見通し

当社グループは主力とする電子・工業材料事業において、中国を中心とする東アジアを最重要市場として捉え新たに蘇州に営業拠点を設立し、グループ現地法人与連携し、市場動向とユーザーニーズを迅速且つ、的確に取り込むべく技術サポート体制の強化を図り、営業展開、市場開拓を推進いたします。

ハードコートフィルムを中心とする電子・工業材料製品は、FPD(フラットパネルディスプレイ)用途向けに需要拡大が予想され、売上の増加を見込んでおります。また、当社グループは高付加価値製品を中心として生産体制を強化するとともに、品質及び利益率向上に努め増益を目指します。

さらに、当社グループは、日本及びアメリカに所在する3工場の連携を深めることにより、原材料の安定調達並びに調達コスト及び為替変動リスクの低減を図るべくグローバルな生産体制を推進してまいります。

これらの結果、当社グループの平成26年3月期の連結業績予想といたしましては、売上高23,000百万円、経常利益3,200百万円、当期純利益2,000百万円を見込んでおります。

【訂正後】

次期の見通し

当社グループは主力とする電子・工業材料事業において、中国を中心とする東アジアを最重要市場として捉え新たに蘇州に営業拠点を設立し、グループ現地法人与連携し、市場動向とユーザーニーズを迅速且つ、的確に取り込むべく技術サポート体制の強化を図り、営業展開、市場開拓を推進いたします。

ハードコートフィルムを中心とする電子・工業材料製品は、FPD(フラットパネルディスプレイ)用途向けに需要拡大が予想され、売上の増加を見込んでおります。また、当社グループは高付加価値製品を中心として生産体制を強化するとともに、品質及び利益率向上に努め増益を目指します。

さらに、当社グループは、日本及びアメリカに所在する3工場の連携を深めることにより、原材料の安定調達並びに調達コスト及び為替変動リスクの低減を図るべくグローバルな生産体制を推進してまいります。

これらの結果、当社グループの平成27年3月期の連結業績予想といたしましては、売上高23,000百万円、経常利益3,200百万円、当期純利益2,000百万円を見込んでおります。

添付資料 4 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
(2) 財政状態に関する分析

【訂正前】

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ 444 百万円増加し、28,799 百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加 631 百万円、機械装置及び運搬具の増加 510 百万円、建設仮勘定の増加 299 百万円、受取手形及び売掛金の減少 796 百万円、土地の減少 120 百万円であります。

【訂正後】

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ 444 百万円減少し、28,799 百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加 631 百万円、機械装置及び運搬具の増加 510 百万円、建設仮勘定の増加 299 百万円、受取手形及び売掛金の減少 796 百万円、土地の減少 120 百万円であります。

以上